

2008 年度

科目名 現代社会と人権（総合講座）	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者 李 和子
授業テーマ 「多文化が共生する社会～在日朝鮮人の視点から」		
授業の概要と目標 21世紀は、地球的視野と歴史的洞察が必要な時代といわれています。日本の中にある異文化、異民族の存在に気づき、関心を持ち、日本に住むようになった歴史的経緯、その国の政治・経済・文化、個人の思いを知ることによって視野が広がり、自分自身の人生も豊かになっていきます。外国人住民の渡日史、生活、人権問題についてビデオなどを使って具体的に紹介しながら、異なる国籍・民族を持つ人々の人権が尊重され、多文化が共生する地域社会への展望を探ります。		
評価方法 「出席」と学期末の「レポート」で総合評価します。 出席は、毎回ミニ・レポートを提出してもらい確認します。		
テキスト 配布するプリントに参考文献を明記します。	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 - 異なる国籍・民族の人々と共に生きている私たち① 外国人登録者数からみた推移 歴史的背景の多様化 - 異なる国籍・民族の人々と共に生きている私たち② 世界の中の日本 人類共通の課題は何ですか？ - 身近な「外国人」人権問題① ビデオ視聴「いっしょに歩こう」豊かな国際化社会をめざして - 身近な「外国人」人権問題② 日系労働者について 「デカセギ」から定住へ - 身近な「外国人」人権問題③ 外国人労働者、研修生制度 新聞記事から問題点を探る - 身近な「外国人」人権問題④ 難民とは？ 日本にいる難民の人たちの声から学ぶ - 身近な「外国人」人権問題⑤ 中国帰国者、歴史的背景と帰国後のサポートと課題 - 身近な「外国人」人権問題⑥ 小レポートのまとめと解説 - 朝鮮半島と日本 古より続く朝鮮半島とのつながり～コリアタウン（猪飼野）の歴史をたどる～ - 在日コリアンの歴史と生活① 家族写真の中の「在日」～家族史から～ - 在日コリアンの歴史と生活② 在日朝鮮人一世は、なぜ祖国を離れ、海峡を渡ったのか？ - 在日コリアンの歴史と生活③ 戦後の法的地位と生活 - 異なる国籍・民族の人々と共に生きるために① 国際化時代の教育～多文化・多民族共生教育に向けて - 異なる国籍・民族の人々と共に生きるために② 学校現場の今 子ども達の作文から - 異なる国籍・民族の人々と共に生きるために③ 地方自治体の外国人施策、多文化教育の現状、学びから実践へ		